



地震、津波、火災等への応急対策を確認

平成二十三年度(第四九回)秋田県総合防災訓練

秋田県・能代市

題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十三年度全国統一防火標語
消したはず
決めつけないで
もう一度

平成二十三年度秋田県総合防災訓練が八月三〇日(火)、七一機関・団体から約五、〇〇〇人が参加し、能代市で実施された。

この訓練は、防災関係機関と地域住民が協力して、地震、津波及び火災等を想定した各種訓練を行い、災害の予防と災害応急対策等の防災活動が迅速・適確に実施できるようにするとともに防災意識の高揚を図ることを目的に毎年実施されている。

■実施日時

平成二十三年八月三〇日(火)

午前八時三〇分〜午後〇時三〇分

■開催地

能代街区(市文化会館、淳城小、風の松原通り)、JR能代駅

能代火力発電所、下浜埠頭

■訓練想定と訓練の概要

① 三〇日(火) 午前八時二五分、秋田県沖一〇〇kmを震源とするマグニチュード八・七の連動地震が発生し、能代市で震度六強の激しい揺れを観測、大津波警報が発表

された。津波の高さは約六m、到達時間は二十分後と予想された。

② 能代市内では、地震により家屋の倒壊が相次ぎ、火災は多発し延焼拡大の様相。幹線道路は各所で寸断され交通事故が発生。津波からの沿岸地域住民の避難誘導が急務となった。

③ 秋田県では災害対策本部を設置し、警察、消防、自衛隊、赤十字及び災害派遣医療チーム等の派遣を要請した。

④ 能代市では災害対策本部を立ち上げ、情報収集、避難所開設、道路交通の確保など地域防災計画により業務を開始。

各町内会、自主防災組織と公共機関は協力し、自主避難、初期消火、負傷者の救護救出活動を開始した。併せてボランティア団体も集結、救援物資の配付、飲料水、炊き出し等の準備を開始した。

■佐竹秋田県知事あいさつ

死者、行方不明者が二万人を超える未曾有の被害をもたらした東日本大震災から間もなく半年となります。また二八年前には、ここ能代市でも日本海中部地震の津波により、多くの人命が奪われたことを私たちは忘

れてはなりません。災害は、何時でも、何処でも発生する可能性があります。本日の訓練の経験を、実際の災害時に活かして頂きたい。また、活かすことができるよう、引き続き、それぞれの立場で更なる能力の向上、連携の強化を追求して頂くよう、お願いいたします。



防 災 訓 練 の 実 施 状 況

秋 田 市

開催日	平成23年9月1日(木)
開催地	秋田市北部地域(メイン会場:セリオン)
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月1日午前7時30分、秋田県沖を震源とする非常に強い地震が発生、秋田市では震度6強を記録 ・建物内に閉じ込められ者や土砂崩れなどにより多数の死傷者発生数箇所火災が発生 ・道路寸断やライフラインにも大きな被害
主な訓練内容	応急救護所設置・運営訓練 石油コンビナート消火訓練 中高層建物消火・救助・救出訓練
参加人員	700名(35機関・団体)



鹿 角 市

開催日	平成23年9月25日(日)
開催地	鹿角市尾去沢地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9時30分、マグニチュード7.0の地震が発生し、鹿角市では震度6強を観測、各地区で火災発生 ・倒壊建物により負傷者数名 ・その他、地震により崩れた土砂が用水路に入り、水が溢れ住宅内に流れ込んでいる
主な訓練内容	・避難誘導訓練・倒壊建物救出救助訓練・AED取扱い訓練・初期消火訓練・土嚢積み訓練・緊急搬送訓練
参加人員	300名(28機関・団体)



潟 上 市

開催日	平成23年10月27日(木)
開催地	潟上市(飯田川地区・天王地区)
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・10月27日午前9時55分、秋田県沖30km、震源の深さ10km、マグニチュード7.7、震度6弱の地震が発生 ・潟上市全域で災害が発生 ・大津波警報が発令され避難指示が出される
主な訓練内容	・火災防御訓練・倒壊建物救出救助訓練・避難訓練と要救助者救出訓練・水難救助訓練
参加人員	約1,140名(18機関・団体)



能 代 市

開催日	平成23年8月30日(火)
開催地	能代市
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・8月30日午前8時25分、秋田県沖を震源とするマグニチュード8.7の連動地震発生 ・能代市では震度6を観測 ・秋田県に大津波警報が発表 ・家屋の崩壊、火災が多発、道路やライフラインにも被害が発生
主な訓練内容	・帰宅困難者対応訓練・倒壊建物からの救出訓練・津波による海難救助訓練・孤立地域救出訓練
参加人員	5,000名(71機関・団体)



各 地 域 に お け る 総 合

横 手 市

開催日	平成23年8月26日(金)
開催地	横手市雄物川庁舎及びその周辺施設
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・8月26日午前9時00分頃、秋田県内陸南部で強い直下型地震が発生 ・震源地は市西部で最大震度6強を記録 ・家屋の倒壊や橋、道路の損壊、建物火災など雄物川庁舎周辺で甚大な被害が発生
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・倒壊建物救出・初期消火・街区火災防御訓練 ・避難所設置・ボランティア受入訓練
参加人員	600名(17機関・団体)



由 利 本 荘 市

開催日	平成23年9月4日(日)
開催地	由利本荘市岩城地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月4日午前7時00分頃、秋田県沖を震源とするマグニチュード8.0(震度6強)の地震が発生 ・大津波警報が発表されたため避難指示発令 ・内道川地区で大規模火災、倒壊事故が発生
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火災防御訓練・救助救出訓練 ・多数傷病者事故対策訓練 ・避難介助、避難誘導、避難訓練
参加人員	990名(11機関・団体)



湯 沢 市 雄 勝 郡

開催日	平成23年9月2日(金)
開催地	湯沢市稲川地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月2日午前8時58分、震度7の地震が発生 ・学校等の公共建物、一般住宅より出火 ・建物損壊等により負傷者が多数発生
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・街区火災等各種防御・避難誘導訓練 ・NBC災害対応訓練 ・多数傷病者救急訓練
参加人員	400名(10機関・団体)



大 仙 市

開催日	平成23年8月31日(水)
開催地	大仙市中仙地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県内陸南部を震源とするマグニチュード8.5の直下型地震発生 ・中仙地域では震度6強を記録 ・中仙地域では建物の倒壊、ライフラインにも被害が発生、負傷者も多数発生 ・中仙地域内数力所から火災発生
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による倒壊建物救出訓練・中学生による避難所運営訓練・国際協力協会による災害ボランティア訓練
参加人員	1,200名(35機関・団体)



第二〇回 全国女性消防操法大会

神奈川県横浜市

第二〇回全国女性消防操法大会が一月一九日(水)、神奈川県横浜市戸塚区の「横浜市消防訓練センター」で開催され、東日本大震災に伴う諸事情から出場辞退された岩手県、宮城県、福島県の三県を除く四四都道府県の代表チームが参加し、熱戦を繰り広げた。本県からは横手市平鹿女性消防隊が出場した。



出場隊を激励する畠山副会長

操法競技

本県代表の横手市平鹿女性消防隊は、応援に駆けつけた秋田県消防協会畠山勉副会長や横手市議会議長、協会横手市支部の各消防団長などから激励、声援を受け、出場順位五番目に登場した。しかしながら、エンジンが掛からず、やむなく操法中止となった。これまでの訓練成果を発揮できなかったことは真に残念であったが、この経験を活かし、地域の防火防災活動に一層ご活躍されることを祈念する。

訓練展示

訓練展示は、大地震により建物が倒壊し多数の住民が閉じ込められ、さらに火災が発生したとの想定で行われた。訓練展示を披露したのは、横浜市港北消防団などで、標準的な救助活動用資機材を搭載した多機能型車両等を活用し、女性団員も災害時における一連の活動を展示した。

第20回 全国女性消防操法大会成績順位表

順位	都道府県	消防隊名	総合得点	タイム(秒)
優勝	岡山県	真庭市女性消防隊	93.5	51.97
準優勝	熊本県	美里町女性消防隊	82.5	54.74
	新潟県	糸魚川市女性消防隊	82	57.41
優秀賞	愛知県	半田市女性消防隊	81	54.3
	栃木県	那須烏山市女性消防隊	80.5	59.2
	福岡県	八女市女性消防隊	80	54.79
優良賞	山口県	下関市女性消防隊	78	58.11
	愛媛県	松前町女性消防隊	76	55.07
	兵庫県	豊岡市女性消防隊	76	56.61
	島根県	松江市女性消防隊	75	59.62
	青森県	青森市青桜女性消防隊	72.5	56.2
	佐賀県	多久市女性消防隊	72.5	58.1



◀訓練展示



▶応援の横手市各消防団長

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

第一期女性消防団員研修
秋田県消防学校

第一期女性消防団員研修は10月二十九日(土)、三〇日(日)の二日間、秋田県消防学校で行われ、九消防団から二六名が参加した。

この研修は、秋田県消防協会が、年々増加している女性団員を対象に全県規模の教育訓練が必要と考え、秋田県の支援、秋田県消防学校の協力を得て実施するもので、今年度が第一期、概ね五回開催することとしている。

入校式で中泉松之助秋田県消防協会会長は「消防活動が、地域の安心・安全に対する住民の高まりで多様化、専門化してきている中、女性団員には、住宅用火災警報器の普及促進、住民に対する防災教育や応急手当の指導普及面での活躍が期待される。また、来年度、本県で開催する全国女性消防団員活性化大会には積極的に参加し、大いに盛り上げてもらいたい」とあいさつした。

■研修内容

第一日目

入校式、オリエンテーション、講話、消火訓練、意見交換

第二日目

普通救命講習、訓練礼式、修了式

女性消防団員教育(第1期)受講生名簿

番号	消防団名	階 級	氏 名
1	鹿角市消防団	団員	安 保 千 夏
2	鹿角市消防団	団員	上 蘭 美佐子
3	大館市消防団	副分団長	横 堀 妙 子
4	大館市消防団	部長	佐 藤 洋 子
5	大館市消防団	部長	富 樫 たえ子
6	大館市消防団	班長	宮賀崎 民 子
7	大館市消防団	団員	笹 島 真理子
8	能代市消防団	団員	小 林 桃 子
9	三種町消防団	班長	石 井 咲 子
10	三種町消防団	団員	高 崎 厚 子
11	秋田市消防団	団員	工 藤 徳 子
12	秋田市消防団	団員	金 あずさ
13	にかほ市消防団	班長	須 田 典 子
14	にかほ市消防団	団員	佐々木 恵 子
15	にかほ市消防団	団員	新 田 まゆみ
16	大仙市消防団	団員	畑 本 双 美
17	大仙市消防団	団員	武 藤 マリ子
18	大仙市消防団	団員	浅 原 道 子
19	大仙市消防団	団員	一 色 順 子
20	大仙市消防団	団員	佐 藤 美佳子
21	大仙市消防団	団員	高 橋 緑
22	仙北市消防団	団員	西 宮 三 春
23	仙北市消防団	団員	福 岡 梨 佳
24	横手市平鹿消防団	団員	原 ヨシミ
25	横手市平鹿消防団	団員	柴 田 千恵子
26	横手市平鹿消防団	団員	藤 原 友 子
	合 計		26



平成23年度 消防団員特別教育女性消防団員研修

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

第六五期初任教育

消防学校を

ふりかえって



須藤 憲哉
(湯沢雄勝広域市町
村圏組合消防本部)

消防学校入校当初は、心も身体つきも知識も消防人として全く相応しいものではなかった。だがこの半年間で沢山のことを吸収し自分を成長させ、ほんの少しかもしれないが自分の理想の消防人に近づけたのではないかと思う。

初めての寮生活は男臭くて男子校のような雰囲気であって楽しいイメージを持っていたが、実際は厳しく細かな校則がルールの多さに戸惑いを感じ期待よりも不安が大きかった。しかし仲間の存在によってその不安は解消された。この半年間だけでなく、今後の消防人生で共に困難を乗り越え、歓びを分かち合える仲間ができて心強かった。

入校式は、これまで自分が経験してきたどの式よりも緊張感があり、厳粛なもので消防士になることの重みを感じることができた。人生においての一大イベントでもある入

校式をいい緊張感を持って臨め、消防人生のスタートを恥じるような堂々とした態度、返事をすることができた。前日にあった余震の影響で停電の中で行われたことも今となっては特別な思い出となった。

学校の授業においては、初任科に入らず直接所属に配属された同期よりも恵まれた環境の中で、より専門的でより多くの知識を得る機会であったと思う。実技訓練では大がかりな施設や設備が揃えられていることにとっても驚かさされた。あらゆる想定を考えているいろいろな資器材を取り扱い、消防らしい道具を使えることに喜びを感じた。だが、初めて筒先を持ったときの感動は忘れることはないだろう。自分は救助や救急よりも、防火衣を着て筒先を持って火に立ち向う消防士の姿に強い憧れを抱いていたからだ。また、あらゆる想定を考えていても現場では想定外のことばかりである。その際自身身がいかにか臨機応変に対応できるかが必要となる。そういった対応力を火災防備応用訓練等により鍛えることができ、とても実になる実技訓練であった。

行事では、今日歩大会でチームの絆を深めるとともに、長距離を長い時間かけて走り切ることができ、大きな達成感を味わうことができた。



そして走ることが更に好きになった。無線や危険物の資格取得試験では自分一人では、進んで勉強できなかったと思う。こういうときに周りの勉強している姿がとてもいい刺激になった。一緒に勉強したからこそ合格できたと思うから皆に感謝している。

山岳訓練では九二人全員が登り切り一つの目的に向かって汗を流し、より一層結束力が生まれた。

この半年間で消防の基礎を学び、社会人としてのマナーやルールを身

につけ、人として成長できたことを自覚している。ここでの経験の全てと六五期の仲間たちは自分にとつての最高の財産となった。今後の人生においてもこれらの財産を大切にしていきたい。校長先生を初め、副校長、講師の皆様には大変にお世話になった。この方々のお陰で、今の自分の成長があるのだということをしつかりと胸に留め、言葉には言い表せないくらいの感謝をいつか恩返しできたらと思う。本当にありがとうございました。



平成23年度 防火ポスターコンクール募集要項

- 1. 目 的 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする
- 2. 主 催 秋田県・(財)秋田県消防協会
- 3. 後 援 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
- 4. 募集規定
 - (1) ポスター
 - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
 - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大 (54 cm×38 cm) 程度であること
 - ハ 一人一点とする
 - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
 - (3) 募集期間 平成23年11月1日～12月31日 (12月31日の消印有効)
 - (4) 審 査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
 - (5) 入賞発表 平成24年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
 - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。
一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
- 5. 募集条件
 - (1) 応募作品は返却できません。また入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
 - (2) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
 - (3) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した **名札 (たて6cmよこ20cm) を作品の右下に必ず貼り付けてください。**

【記入例】

市町村名	学 校 名	
	(ふ り が な)	性
学 年	氏 名	別

※ふりがなは必ずご記入ください。

6. ポスターの作製

一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**

7. 送 り 先

〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎 (財)秋田県消防協会あて
お問合せ先 TEL 018-867-7320

※ 作品を送付される場合、送料は応募者のご負担ください。



土崎中学校 佐藤 志穂さん

太田南小学校 小松 奏太くん

平成22年度作品

能代第一中学校 大高 純奈さん

平成21年度作品
藤里小学校 伊藤絵梨華さん

支部情報アラカルト

仙北市の無火災を祈願して

仙北市消防団

仙北市角館町では、毎年九月七日から九日までの三日間行われる、国重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」通称「やまぶつけ」が開催されます。

このお祭りは、今から三五〇年ほど前に角館地域の鎮守である神明社(九月七・八日)と成就院葉師堂(九月八・九日)のお祭りが一緒になっ



神明社に向けて行進する幹部団員

初日に神明社、八日には成就院葉師堂へ無火災・無災害を祈願するため、参拝しています。これは、町村合併前から角館町消防団で行われており、その後、仙北市消防団に引き継がれたものです。

今年、佐藤団長以下二〇名の幹部団員が角館庁舎前に集合し、出発式を行った後神明社に向け行進を開始しました。街中は参拝へ向かう十数台の曳山がちらりなり、お囃子が鳴り響き、お祭り一色です。

また、お祭り期間中は災害事故防止等の見回りや火災発生時の早期出動・災害発生時の避難誘導の為、角



神明社での無火災祈願

館町内四ヶ所のポンプ庫に警戒派出所設置しており、参拝後には警戒出動をしている団員の労をねぎらい、その後、自分たちの労をねぎらった事は言うまでもありません。

(情報提供) 大仙市仙北市美郷町支部

火災の発生状況

秋田県総合防災課調査

	平成23年		平成22年			同期比較	
	10月	累計	10月	累計	年計	10月	累計
建 物	17	182	16	200	235	1	-18
林 野	0	17	0	13	13	0	4
車 輛	5	34	2	22	27	3	12
その他	3	53	4	50	57	-1	3
合 計	25	286	22	285	332	3	1
死者数	2	30	1	19	20	1	11
負傷者数	6	49	2	51	58	4	-2

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494